

関西の ライフサイエンスクラスター

～世界のイノベティブ・フィールド～



はじめに

関西は、歴史的に医療・バイオ産業が早くから発達し、近年では再生医療等の分野で先端的な研究開発が進むなど、日本のライフサイエンス分野をリードしてきた地域の一つです。

関西には、ノーベル賞受賞（生理学・医学賞）の研究者が多数存在するなど世界最先端の研究開発を行う大学・研究機関が集積しています。また、日本の医薬品・医療機器業界をリードし、グローバルに展開する企業やユニークな強みを持つ多様なライフサイエンス分野の企業の高い集積があります。さらに、これらの研究やその実用化を支える世界的にも有名な高度な研究機関や研究所があります。このため、海外の大手医薬品メーカーや医療機器メーカー等が関西に進出し、また、ライフサイエンス分野でのスタートアップが多く生まれるなど、今後、世界トップクラスのライフサイエンスクラスターへの成長が期待されています。

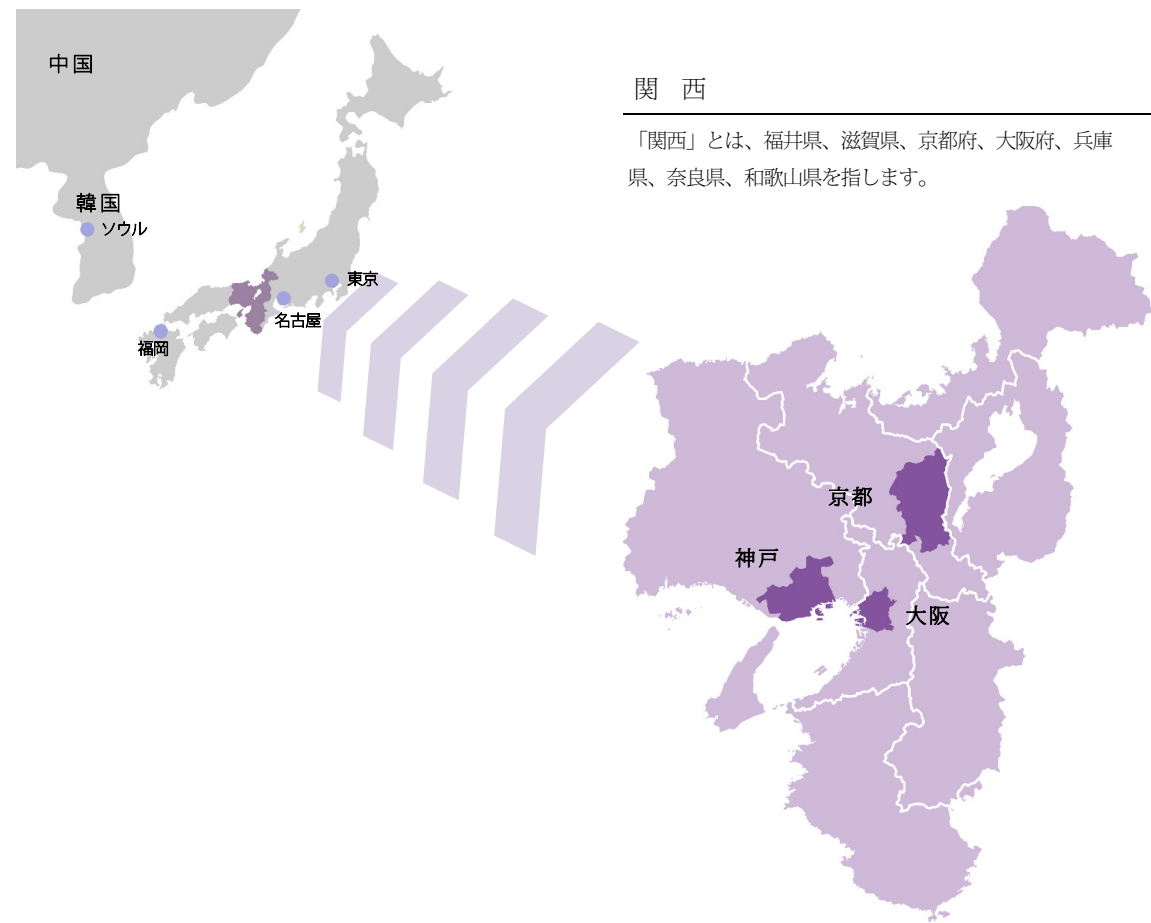
また、ビジネス環境の面においても、オフィス賃料や工業団地借料等のコストはアジア近隣諸国と比べて低く、自治体・支援機関のサポート体制も充実しています。さらに、関西は、日本の歴史・文化・芸術の多くの発祥の地であるとともに、主要な都市では、「世界で最も住みやすい都市第4位」、「世界の満足度の高い観光地ランキングベストシティ部門第1位」、「世界で最も衛生的な都市第8位」に選ばれるなど、住環境面でも大変優れています。

加えて、2025年には「大阪・関西万博」（テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン、コンセプト：未来社会の実験場）の開催が予定されており、関西を拠点としたライフサイエンスビジネス活動を世界に向けて発信することもできるなど、ますます注目を浴びています。

本冊子により、関西への関心を持って頂けますとともに、本冊子が関西へのビジネス投資を考える際の一助となれば幸いです。

目次

関西の大きな市場と充実したインフラ	3
世界トップクラスのライフサイエンスクラスター	5
関西の多様なライフサイエンス分野の地域プロジェクト、地域クラスターが進行中	7
世界をリードする先端的な研究を進める大学の集積	9
世界に冠たる研究機関・研究所の集積	11
日本の医薬品、医療機器をリードする企業の集積	13
ビジネスがはじめやすい街 関西	15
充実した各種サポート体制	18
住みやすい街 関西	19
2025年 大阪・関西万博に向けて	20
（巻末資料）	21



関西の大きな市場と充実したインフラ

大きな関西経済

関西は、日本の中心に位置する人口約2,145万人、GDP 約8,059億ドルという巨大なマーケットを有している地域です。その経済規模は世界17位となっています。

●首都圏に次ぐ国内第2の経済圏

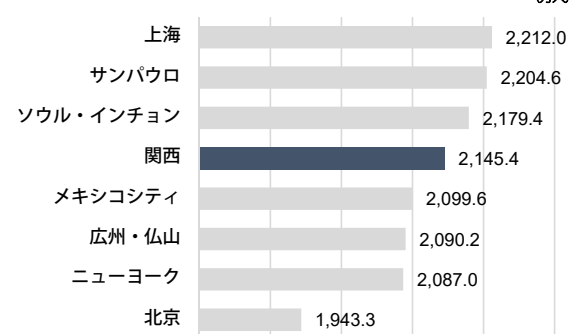
●豊富な労働力人口 生産年齢人口 1,267.7万人（平成30年度）

出所：総務省統計局「人口推計」

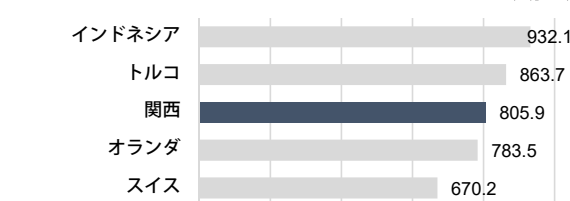
●アジア経済との強い結びつきのある関西経済

●ニッチトップ企業や多様な試作に対応できる 中堅・中小企業の集積

●世界8位に匹敵する人口規模



●世界17位に匹敵するGDP

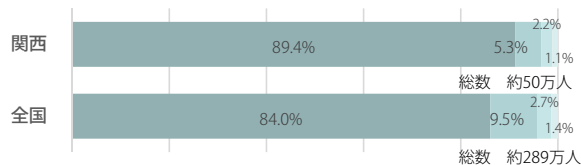


出所：総務省 住民基本台帳に基づく人口（令和2年1月1日現在）Demographia World Urban Areas 16th Annual Edition 2020.04、内閣府「国民経済計算年報」「県民経済計算年報」（平成28年）
（注）関西のGDP＝平成28年度域内総生産（名目）より算出 レートは1ドル＝108.37円で換算

アジアと結びつきが深い関西

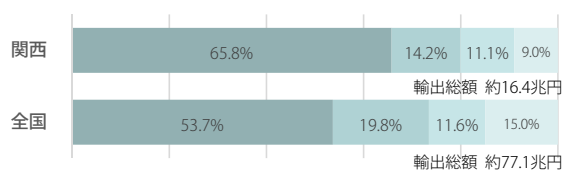
関西は、歴史的にもアジアとの結びつきが深く、アジアからの多くの外国人を受け入れています。関西に進出している外資系企業のうち、アジア系企業が約30%と全国より高い割合を占めています。また、輸出・輸入の面でもアジアの占める割合が高く、関西は、アジアへの展開に魅力的な地域です。

●地域別在留外国人の比較（2020年）



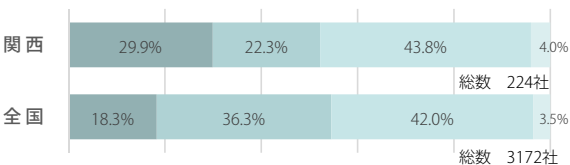
出所：出入国管理庁在留外国人統計都道府県別国籍・地域別表（2020年6月）

●地域別輸出の比較（2019年）



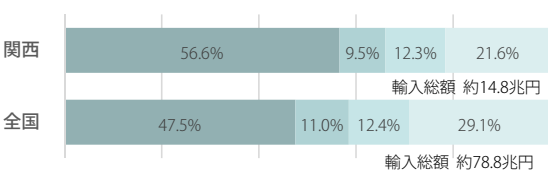
出所：大阪税関貿易統計近畿圏別表、敦賀税関支所管内（福井県）別表（2019年分）

●外資系企業の比較（2020年）



出所：東洋経済新報社「外資系企業データ」（2020）より作成
※外資系：外資比率20%以上（一部支社等も含む）
※アジア・北米・欧州の定義：外務省HP <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> 参照

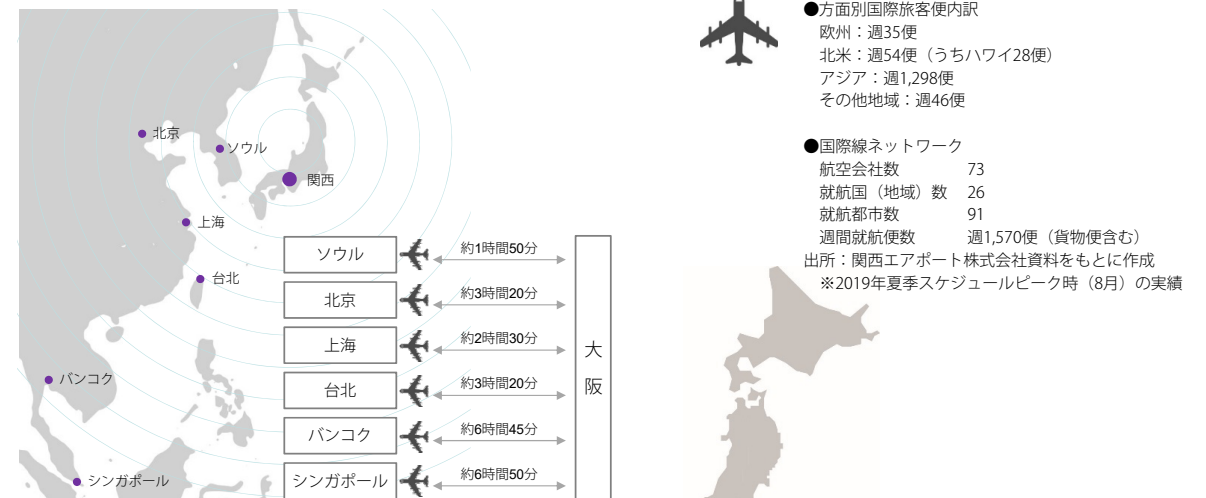
●地域別輸入の比較（2019年）



出所：大阪税関貿易統計近畿圏別表、敦賀税関支所管内（福井県）別表（2019年分）

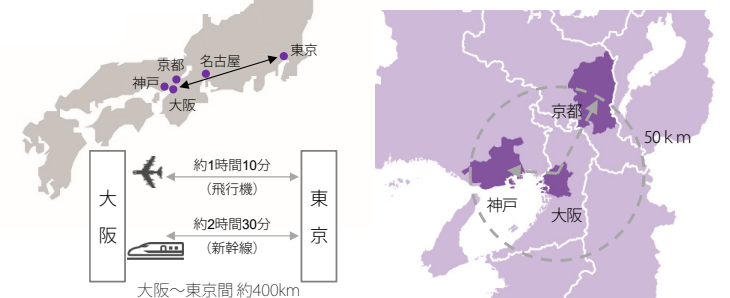
充実したインフラ

関西国際空港は、アジア就航都市数55都市、国際線LCCは20社・28都市、ともに日本国内最多を誇ります。日本・大阪からアジアの各都市へも数時間で移動することができます。また、大阪・神戸等の大型の港湾を擁し、国際貿易拠点として、アジアの中核として役割を担っています。



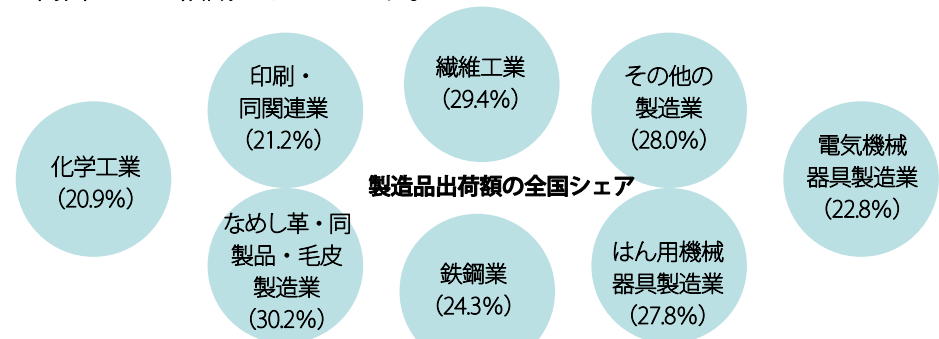
- 方面別国際旅客便内訳
欧州：週35便
北米：週54便（うちハワイ28便）
アジア：週1,298便
その他地域：週46便
- 国際線ネットワーク
航空会社数 73
就航国（地域）数 26
就航都市数 91
週間就航便数 週1,570便（貨物便含む）
出所：関西エアポート株式会社資料をもとに作成
※2019年夏季スケジュールピーク時（8月）の実績

大阪～東京間は約400kmで、新幹線で2時間半、飛行機では1時間で移動できます。また、大阪から京都や神戸（約50km圏内）の主要都市へは30分程度で移動できる利便性が魅力です。



「つくれないものはない」ものづくり産業の集積

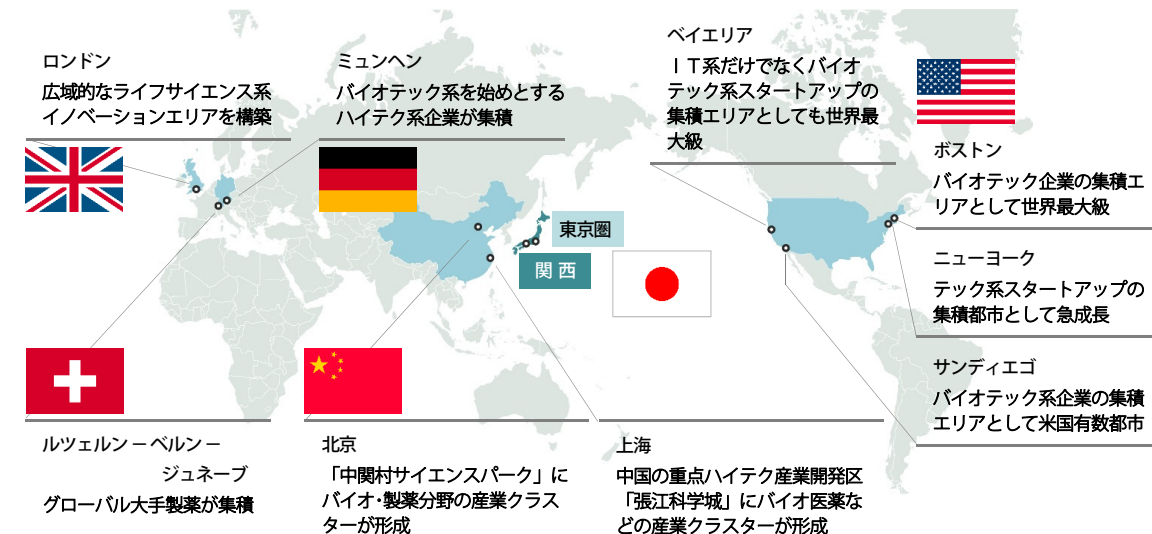
関西は、素材、部品加工から最先端製品製造まで、幅広い産業集積を有しています。特に、日本のものづくりを支えている、高度な加工や機械制御等の技術を有する中小企業が多く集積しており、京都試作ネットをはじめとした、プロトタイプ制作や量産化試作等において海外からも活用されています。



出所：経済産業省「平成30年度工業統計調査 地域別統計表」より作成、○内は全国に占める関西のシェア

世界トップクラスのライフサイエンスクラスター

関西は、高度な研究開発を行う大学や研究機関、医薬品や医療機器等の企業の高い集積があるなど、産学官等の連携による大規模なライフサイエンスクラスターを形成しており、今後、世界トップクラスのライフサイエンスクラスターへの成長が期待されています。



ロンドン（英国）

- ・2014年、ケンブリッジ・オックスフォード・ロンドンの5大学が連携し、ライフサイエンス分野の産業化を広域的に推進する組織「MedCity」を設立。
- ・ロンドンのガイズ病院に、細胞・遺伝子治療分野のイノベーションセンター「細胞・遺伝子治療カタバレット」を設置。製造センターも備え、日本を含む国内外の産学機関と連携し、細胞・遺伝子治療の産業化を進めている。
- ・2015年、生物学・物理学など分野横断的な研究を行う「フランシス・クリック研究所」を開設。

ボストン（米国）

- ・グローバル大手製薬会社、AIやロボティクス分野の企業が立地する。マサチューセッツ総合病院などアメリカ国立衛生研究所（NIH）から高額の資金を受ける病院も複数立地。
- ・マサチューセッツ工科大学（MIT）、ハーバード大学など世界有数の大学からトップレベルの研究成果や研究人材が輩出。
- ・ケンダル・スクエア地区周辺は、世界有数のスタートアップの集積地区であり、バイオ系のスタートアップを多数輩出。
- ・投資家などの支援機関も充実している。

ペイエリア（米国）

- ・世界最大のIT系スタートアップの集積地区であるシリコンバレー周辺には、バイオ系スタートアップも多い。
- ・スタンフォード大学では、臨床ニーズを掘り起こし医療機器を開発する「バイオデザインプログラム」が実施されており、医療機器開発のエコシステムが確立されている。
- ・有力な工学部を有するスタンフォード大学やカリフォルニア大学が、医工連携の強みを発揮している。
- ・経験豊富なベンチャーキャピタルも数多く集積している。

東京圏

- ・湘南・川崎〜つくば等も含めた地域には、日本有数の研究機関や製薬企業の拠点が多数立地するほか、殿町国際戦略拠点キングスカイフロントや湘南ヘルスイノベーションパーク、LINK-J等、エリア単位のバイオクラスターも複数存在。

注：経済産業省 産業構造審議会 バイオ小委員会「バイオテクノロジーが拓く『第五次産業革命』」を基に作成

関西（京都・大阪・神戸）のライフサイエンスクラスター

関西（京都・大阪・神戸）

- ・京都大学や大阪大学をはじめとするライフサイエンス分野での先端的、イノベティブな研究シーズとも連携しながら、京都、大阪、神戸の三都市を中心に地域毎で多様なクラスターが、30分から1時間程度で移動できる距離でコンパクトに集積しており、これが連携して関西全体として大規模なライフサイエンス産業クラスターを形成しています。
- ・地域産業支援機関をはじめ、外資アクセラレータ等も加わり、スタートアップ支援も拡充。リーディング企業からバイオベンチャー企業まで、広域で多様な産学官のライフサイエンス分野のエコシステムを構築しています。

（京都府・京都市）

- 京都市ライフイノベーション推進戦略（京都市）
- ① 京都大学
- ④ 京都大学 iPS細胞研究所（CiRA）

（大阪府・大阪市）

- 健康・医療関連産業のクラスター形成（大阪府）
- ② 大阪大学
- ① (国研) 理化学研究所 生命機能科学研究センター
- ② (国研) 医薬基盤・健康・栄養研究所 医薬基盤研究所
- ③ (国研) 日本医療研究開発機構 創薬戦略部 西日本統括部

（兵庫県・神戸市）

- 神戸医療産業都市（神戸市）
- ③ 神戸大学
- ① (国研) 理化学研究所 生命機能科学研究センター

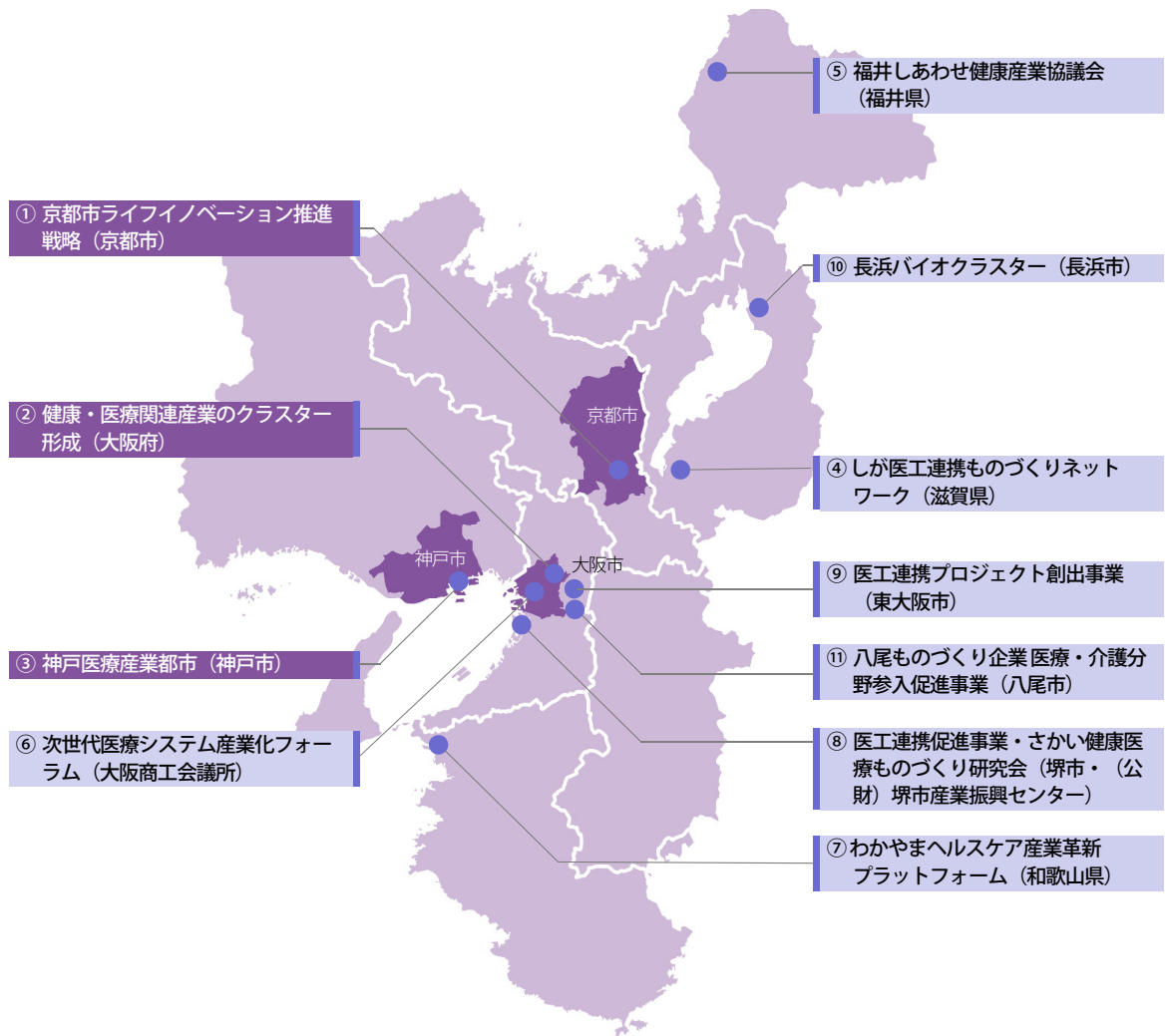
【凡例】以下の主要施設を記載。詳細は（ ）内の頁を参照のこと。

- ライフサイエンス関連プロジェクト（7~8頁）
- 大学（医学部、薬学部）（10頁）
- 研究開発施設（11~12頁）

関西の多様なライフサイエンス分野の
地域プロジェクト、地域クラスターが進行中

関西各地のライフサイエンス関連プロジェクト

京都、大阪、神戸の大学・研究機関を中心として、各地域の特徴を活かした多様なライフサイエンス産業プロジェクト・地域クラスターが形成されており、産官学の連携によるエコシステムを成長エンジンとし本クラスターを牽引しています。



京都市ライフイノベーション創出支援センター



彩都ライフサイエンスパーク



神戸医療産業都市

	概 要	
① 京都市ライフイノベーション推進戦略（京都市）	京都市ライフイノベーション創出支援センターを拠点として産学公の連携により進めてきた「次世代医療分野」、「地場資源活性化分野」の取組に加え、健康寿命の延伸に向けた新たな研究開発を加速させる「健康・福祉・介護分野」の3分野を重点的に取り組む。（企業数：604社）	
② 健康・医療関連産業のクラスター形成（大阪府）	大阪北部を中心に、ライフサイエンス関連の優れた大学、研究機関等が多数立地するとともに、製薬企業等が多数集積。大阪府では、こうしたライフサイエンス分野における産学官の強みを活かし、創薬等の研究開発の拠点である「彩都」、「健康・医療」をコンセプトとした「健都」、未来医療の拠点となる「中之島」の3つの拠点形成を推進。健康・医療関連産業の世界的なクラスターの形成をめざしている。	
③ 神戸医療産業都市（神戸市）	神戸市のポートアイランドに立地する先端医療技術の国際的な研究開発拠点。研究機関・病院・医療関連企業などが集積する、日本最大級のバイオメディカルクラスター。（企業数：369社）	
④ しが医工連携ものづくりネットワーク（滋賀県）	医療分野での新しい技術や製品の開発を目指す企業、大学・研究機関、金融機関、医療機関、行政・支援機関等によるネットワークであり、医工連携による技術革新と事業化に取り組む。（企業数：228社）	
⑤ 福井しあわせ健康産業協議会（福井県）	産業界、大学および医療・介護・健康増進分野の各団体等と連携・協働し、健康寿命の延伸、介護負担の軽減につながる「福井しあわせ健康産業」の創出に取り組む。（企業・団体数：148企業・団体）	
⑥ 次世代医療システム産業化フォーラム（大阪商工会議所）	医工連携活動や事業化支援、さらには欧米、アジアとのグローバルネットワークを活かして国内のみならず、将来的に海外市場もターゲットとした医療機器等の開発や事業化を促進。（企業数：137社）	
⑦ わかやまヘルスケア産業革新プラットフォーム（和歌山県）	ヘルスケアに係る課題解決や健康寿命延伸に繋がる産業の創出・振興のために、医療・介護関係者、大学、金融機関、民間事業者などが会員として参画するプラットフォームを県が設置し、会員が連携して行う研究開発、商品開発、実証等の支援を実施。（会員数：108社）	
⑧ 医工連携促進事業・さかい健康医療ものづくり研究会（堺市・（公財）堺市産業振興センター）	「医療・福祉ビジネスへの参入機会創出」を目指し、専任コーディネータを配置のうえで、企業訪問、医療分野への参入啓発セミナーの実施、ビジネスマッチングに取り組む。（会員社数：95社）	
⑨ 医工連携プロジェクト創出事業（東大阪市）	市内企業の高い技術力やネットワークを活かした医療機器や関連周辺器具の開発など、市内モノづくり企業の健康・医療分野への参入促進に取り組む。（会員企業数：38社）	
⑩ 長浜バイオクラスター（長浜市）	長浜バイオ大学やバイオ関連企業の優れた技術を活用し、地元企業・事業者等と連携しながら新事業を創出することによって、地域経済の活性化に取り組む。（企業数：36社）	
⑪ 八尾ものづくり企業 医療・介護分野参入促進事業（八尾市）	八尾市立中小企業サポートセンター内に医療分野の専門コーディネーターを配置するなど、医療・介護分野参入促進事業を展開。	

注：企業数は令和3年2月時点調べ

世界をリードする先端的な研究を進める 大学の集積

世界トップクラスの研究者

京都大学や大阪大学等の高度な研究機関やノーベル賞受賞者を始めとする世界的に認められる質の高い研究者が多数集まっています。

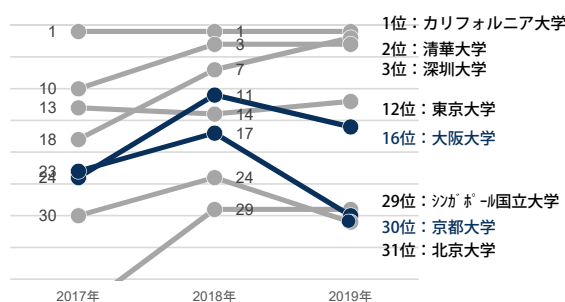
	山中 伸弥 (京都大学 iPS細胞研究所 所長・教授)	「成熟細胞が初期化され多能性をもつことの発見」により、2012年のノーベル生理学・医学賞をジョン・ガードンと共同受賞。
	本庶 佑 (京都大学高等研究院 副院長・特別教授)	「免疫抑制の阻害によるがん治療法の発見」により、2018年のノーベル生理学・医学賞を米テキサス大学のジェームス・アリソン教授と共同受賞。
森 和俊 (京都大学大学院理学研究科教授)	細胞内での「小胞体ストレス応答」の仕組みを解明した功績により、2014年のラスカー基礎医学研究賞をカルフォルニア大学サンフランシスコ校ピーター・ウォルター教授と共同受賞。	
竹市 雅俊 (京都大学 名誉教授・名古屋大学 特別教授・理化学研究所 名誉研究員)	細胞生物学、発生生物学者。動物が多細胞の体を成立させる仕組みについて、細胞接着分子「カドヘリン」を発見し、分子レベルの詳細な研究を行う。その業績により、ドイツ・マックスプランク研究所の Rolf Kemler 博士とともに2020年のガードナー国際賞を受賞。	
坂口 志文 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター)	制御性 T 細胞の発見と免疫における役割の解明、ならびに自己免疫疾患と癌治療への応用により、ガードナー国際賞、クラフォード賞、ロベルト・コッホ賞等を受賞。2019年文化勲章受章。米国科学アカデミー外国人会員。	
審良 静男 (大阪大学免疫学フロンティア研究センター)	自然免疫で重要な働きをする数々の病原体センサーの発見により、ガードナー国際賞、ロベルト・コッホ賞など受賞多数。2009年文化功労者。学士院会員。米国科学アカデミー外国人会員。	

質の高い研究活動

国際特許の出願件数では、大阪大学、京都大学は世界の上位に位置。

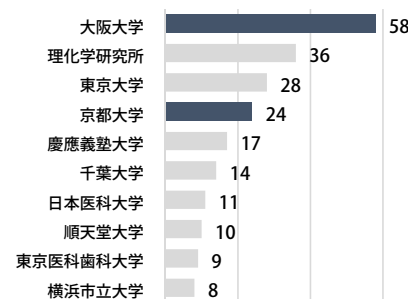
大阪大学は、免疫学における高被引用論文数で全国 1 位。

● PCT (Patent Cooperation Treaty: 特許協力条約) に基づく 特許出願数の大学別国際順位 (件数)



出所: WIPO Statistics Database, March 2020.

● 免疫学/IMMUNOLOGY



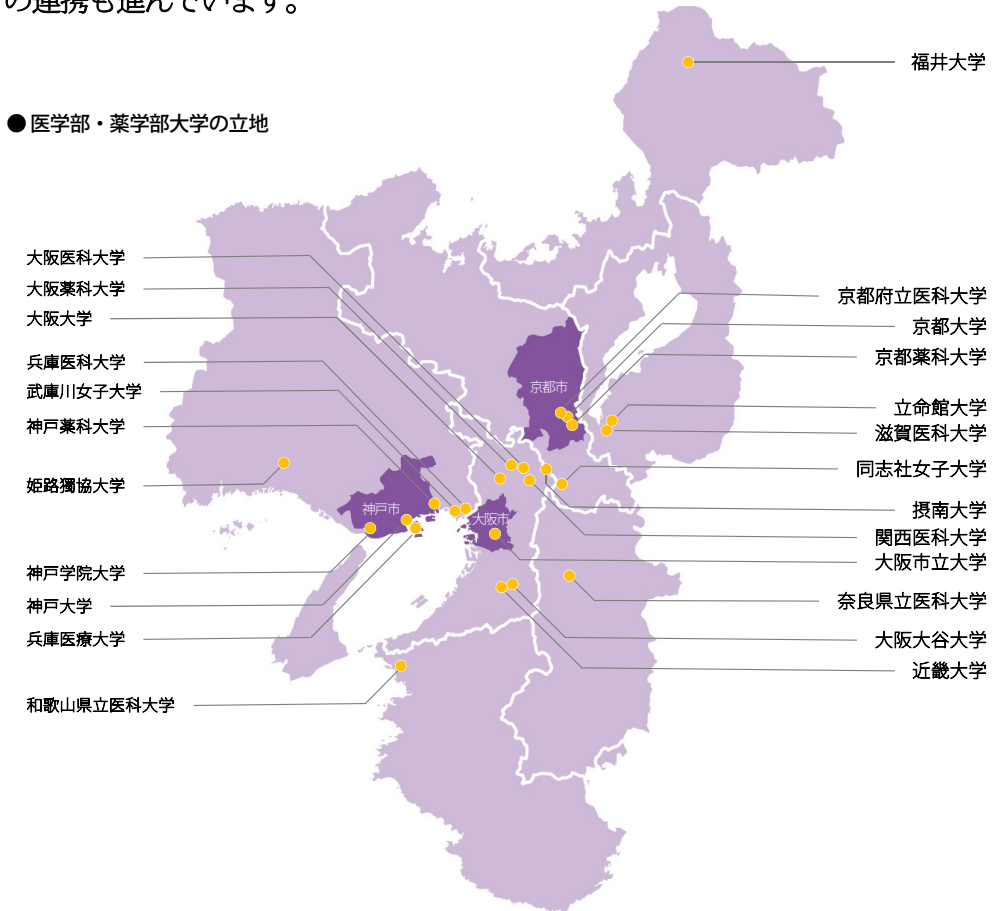
出所: Clarivate Analytics社「インパクトの高い論文数分析による日本の研究機関ランキング2019年版」

(注)「各研究分野における被引用数が世界の上位1%に入る、卓越した論文」と同社が定義した「高被引用論文」数を指標として、日本の研究機関をランキングしたもの

関西各地のライフサイエンス系の大学等の集積

関西には、多くの医学部・薬学部の大学が集積しており、大学生 約2.6万人が在籍しています。その他、生物・生命科学系といったライフサイエンス分野の大学も多数集積しており、同分野の人材を多く育成・輩出しています。海外との共同研究を含め産学の連携も進んでいます。

● 医学部・薬学部大学の立地



	医学部 (約1.1万人)			薬学部 (約1.5万人)	
国公立	京都大学	京都府立医科大学	国立	京都大学	大阪大学
	大阪大学	大阪市立大学			
私立	神戸大学	奈良県立医科大学	私立	京都薬科大学	摂南大学
	福井大学	和歌山県立医科大学		同志社女子大学	神戸学院大学
	滋賀医科大学			立命館大学	神戸薬科大学
				大阪大谷大学	兵庫医科大学
	大阪医科大学	近畿大学		大阪薬科大学	姫路獨協大学
	関西医科大学	兵庫医科大学		近畿大学	武庫川女子大学

コラム Kansai Innovation Initiative (KSI) ※経済産業省 産学融合先導モデル拠点創出プログラム採択

関西イノベーションイニシアティブ(KSI)は、近畿2府4県の17大学を含む、全58機関の参画を得て、近畿圏の強みである特色ある大学群と企業群の集積を最大限に活かしたイノベーション創出活動を推進。

具体的には、

- (1) 域内資源 (関西一円の技術、大学発ベンチャーなど) の見える化と反応促進。好循環を生み出す「場の整備」
- (2) 大学発ベンチャーのアクセラレーション
- (3) 多様なコミュニティとのコラボレーションによる更なる価値の創出
- (4) 人材発掘・経験の場の提供 (次世代のエコシステムリーダー群の形成)

に取り組み、「すべての世代において健康で豊かな暮らしを可能にする持続可能な社会の実現」を目指す。

(参考: <https://ksii.jp/>)

世界に冠たる研究機関・研究所の集積

世界トップクラスの研究施設

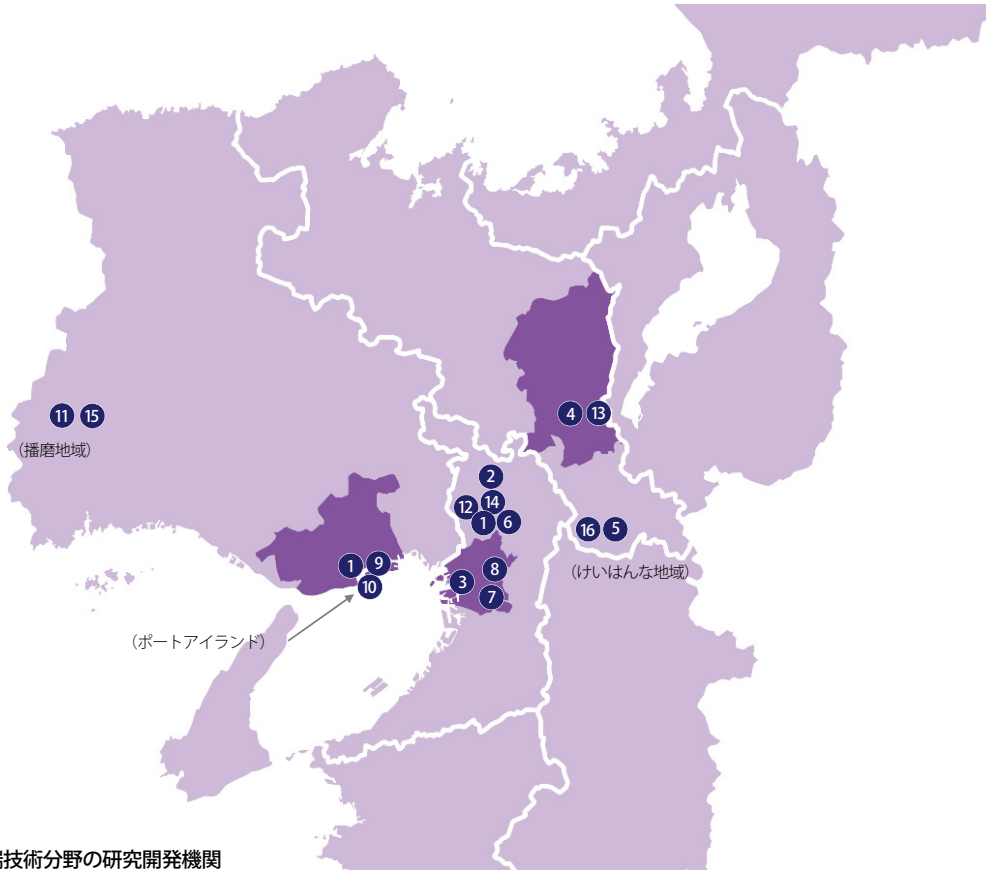
国家プロジェクトとして整備された先端的な設備や装置を備える研究施設が多く集積しており、ライフサイエンス分野での基礎研究から応用研究、実用化研究を支える世界的な研究が行われています。

●ライフサイエンス分野の研究開発機関

① (国研) 理化学研究所 生命機能科学研究センター	個体の発生・誕生から死までのライフサイクルの進行を、分子・細胞・臓器の連関による調和のとれたシステムの成立とその維持、破壊に至る動的な過程として捉え、個体の一生を支える生命機能の解明に取り組む。関西では、神戸市と吹田市に拠点を持つ。	
② (国研) 医薬基盤・健康・栄養 研究所 医薬基盤研究所	平成17年創設。医薬品等の開発に資することとなる共通的な研究、民間等において行われる研究開発の振興等の業務を行い、医薬品等の開発技術向上のための基盤整備を図ることを目的とする。	
③ (国研) 日本医療研究開発機構 創薬戦略部 西日本統括部	医薬品プロジェクトの中核を担う組織として、医療現場のニーズに応える医薬品の実用化を推進するため、創薬標的の探索から臨床研究に至るまで、モダリティの特徴や性質を考慮した研究開発支援を行う日本医療研究開発機構の業務において、西日本統括部では、創薬に係るアカデミアの技術シーズ等を製薬企業各社へ橋渡しを行い、前臨床段階までの支援を行う。	
④ 京都大学 iPS細胞研究所 (CiRA)	iPS細胞の基礎研究から臨床研究までをシームレスに推進する研究機関として、iPS細胞を用いた創薬や再生医療の研究や倫理課題の解決に向けた研究を進めている。	
⑤ (公財)地球環境産業技術研究 機構 バイオ研究グループ	微生物を利用したバイオリファイナリー技術、即ち再生可能資源（バイオマス）を原料としてバイオ燃料やグリーン化学品を製造する技術に関して、国家プロジェクトにて基盤技術開発を行うと共に、企業と共同で事業化を進めている。	

●医療機関関連

⑥ (国研) 国立循環器病研究セン ター	循環器疾患の究明と制圧を理念に掲げ、病院・研究所・オープンイノベーションセンターが一体となり、高度先進的医療の提供をはじめ研究開発や臨床応用に取り組む。	
⑦ 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	がん、心臓病、脳卒中をはじめとして、広い領域の疾患を取り扱う。臨床研究センターを有し、新薬や新しい医療機器の開発のために欠かすことのできないプロセスである治験に積極的に取り組む。	
⑧ 地方独立行政法人大阪府立病 院機構 大阪国際がんセン ター	西日本最多のがん患者を診療している病院、臨床に直結する研究を行っている研究所、大阪のがん行政を支える疫学データを研究しているがん対策センターの3部門から構成され、患者の視点に立脚した高度ながん医療の提供と開発を実践している。	
⑨ WHO健康開発総合研究セン ター (WHO神戸センター)	世界保健機関 (WHO) 本部直轄の研究機関。世界における保健医療へのアクセスの向上を目指し、社会・経済・環境等変化が及ぼす健康への影響、それらの保健政策への反映、および保健問題についての研究を行う。	



●先端技術分野の研究開発機関

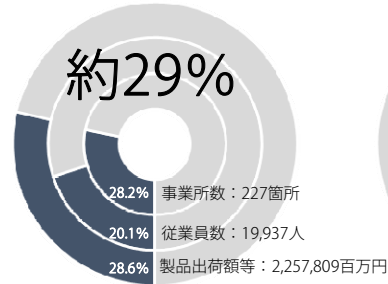
⑩ (国研)理化学研究所 計算科学研究センター	わが国の計算科学および計算機科学の先導的研究開発機関として、スーパーコンピュータ「京」を運用（2012～2019年）。2014年からはその後継機となる「富岳」を開発・運用（2021年3月から共用開始）。社会的・科学的課題の解決に貢献し、ビッグデータや人工知能など新たなIT分野も加速するシステムの構築と研究を行う。	
⑪ (国研) 理化学研究所 放射光科学研究センター	世界最高水準の放射光を提供する大型放射光施設SPRing-8とX線自由電子レーザー施設SACLAの安定した運転に責任を持ちながら、最先端の光源・利用テクノロジーの開発および高エネルギー光科学の創出を行う。	
⑫ (国研) 産業技術総合研究所 関西センター	健康長寿社会の実現に向けて、生体機能を解明、計測、応用することによるバイオ関連技術の社会実装を目指している。	
⑬ (国研) 産業技術総合研究所 京都大学連携研究サイト	先駆的なエネルギー変換・貯蔵技術の開発を目指し、多孔性配位高分子 (MOF/PCP) などの新材料・新概念に基づく次世代のエネルギー化学材料の研究開発に取り組む。	
⑭ (国研) 産業技術総合研究所 大阪大学連携研究サイト	既存の計測限界を超えるバイオセンシング技術を開発し、橋渡し研究を組織的に行い、社会実証・社会実装のみならず、世界のデファクトスタンダードを目指している。	
⑮ (公財) 高輝度光科学研究セン ター (JASRI)	量子ビーム科学に関する研究開発を行い、それら知見を活用し、大型放射光施設SPRing-8やX線自由電子レーザー施設SACLAの利用者支援を通じ、タンパク質結晶構造解析などライフサイエンス研究に貢献。	
⑯ (株)国際電気通信技術基礎研 究所	脳機能の理解とそれに基づくブレイン・マシン・インタフェース (BMI) や精神疾患バイオマーカーの開発等に取り組む脳情報通信総合研究所、および、医工分野横断型サイエンスBioMEC-Xを展開する佐藤匠徳特別研究所を有する。	

日本の医薬品、医療機器をリードする企業の集積

ライフサイエンス産業の国内シェア

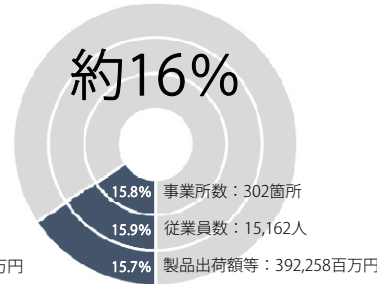
関西は、ライフサイエンス産業の集積が高く、医薬品や医薬部外品等の分野においては、国内の約1/3のシェアを有します。

● 医薬品産業の関西地域の国内シェア



出所：経済産業省「平成30年工業統計調査」
(令和2年1月15日現在)

● 医療機器産業の関西地域の国内シェア



出所：経済産業省「平成30年工業統計調査」
(令和2年1月15日現在)

グローバル展開志向の高いリーディング企業事例

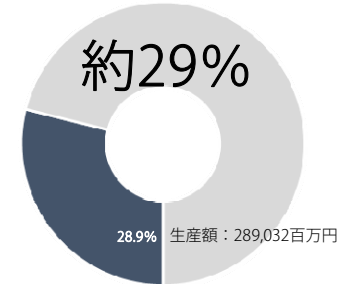
関西は、古くから薬のまちであったことから、多くの製薬会社の本社があり、日本の医薬品、医療機器をリードする企業が集積しています。

医薬品等	武田薬品工業株式会社（大阪市）	国内製薬企業で売上高トップ。患者さんを中心に考えるグローバルな研究開発型/バイオ医薬品のリーディングカンパニー。	
	大日本住友製薬株式会社（大阪本社）	1897年設立の老舗医薬品メーカー。医薬品事業のほか、食品素材、動物用医薬品など事業展開。	
	田辺三菱製薬株式会社（大阪市）	医療用医薬品を中心とする医薬品の研究開発や製造・販売を展開。	
	塩野義製薬株式会社（大阪市）	感染症や精神・神経領域を強みとした医薬品の研究開発、製造、販売を展開。さらに診断や予防といったトータルヘルスケアサービスとしての価値を提供。	
	日本新薬株式会社（京都市）	難病希少疾患を中心に独自の技術で研究開発に取り組む研究開発型の新薬メーカー。医薬品事業で培った技術力を活かし機能食品事業も展開。	
	大幸薬品株式会社（大阪市）	1946年創業。胃腸薬『正露丸』を中心とした医薬品事業と衛生管理製品『クレベリン』を主力とする感染管理事業を活動の柱としている。	
	タカラバイオ株式会社（滋賀県草津市）	バイオテクノロジーを利用した遺伝子治療などの革新的なバイオ医療を実現。	
ヘルスケア他	サントリーホールディングス株式会社（大阪市）	サントリーグループは酒類や清涼飲料を中心に幅広い事業をグローバルに展開しており、着実に成長を遂げている。	
医療機器等	オムロン株式会社（京都市）	体温計や血圧計などの健康医療機器・サービス事業などを世界110カ国以上で展開。	
	京セラ株式会社（京都市）	材料技術や加工技術を用いた人工関節やインプラント等の医療機器を展開。	
	株式会社カネカ（大阪本社）	医薬品/パレックや中間体、血管内治療用カテーテル、再生・細胞医療など先端医療分野へ展開。	
	シスメックス株式会社（神戸市）	臨床検査機器・試薬・ソフトウェアの研究開発から製造、販売・サービス＆サポートを一貫して行う総合メーカー。世界190以上の国や地域で事業を展開。	
	株式会社島津製作所（京都市）	医療用X線装置・画像診断装置、PCR検査装置等、最新の医用機器を展開。	
	ニプロ株式会社（大阪市）	「医療機器」「医薬品」「ファーマパッケージング」「再生医療」を事業の柱に据え、真に必要とされる製品・技術をグローバルに提供。	
	八十島プロシード株式会社（神戸市）	長年培った切削加工技術と3Dテクノロジーを融合し、医療機器分野に展開。	

コラム 外資系企業との連携事例

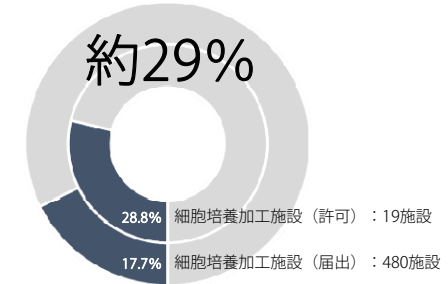
大日本住友製薬株式会社（大阪市）は、2019年5月、ノバルティスファーマ株式会社（東京都港区）と、ノバルティスファーマが2型糖尿病治療薬の適応症で販売中である、選択的DPP-4阻害薬「エクア®錠 50mg」および選択的DPP-4阻害薬/ビグアナイド系薬配合剤「エクメット®配合錠 LD/HD」の日本国内における共同プロモーションおよび販売提携に関する契約を締結。
糖尿病領域を国内営業重点領域の一つに位置付けており、作用機序の異なる複数の2型糖尿病治療薬を販売しています。本契約の締結により、エクアおよびエクメットを糖尿病治療薬の製品ラインアップに追加することができ、より多くの日本の糖尿病患者さんの治療に貢献することを目指しています。

● 医薬部外品産業の関西地域の国内シェア



出所：厚生労働省「平成30年薬事工業生産動態統計年報」
(令和元年10月23日現在)

● 再生医療産業の細胞加工施設（許可、届出）の関西地域の国内シェア



出所：厚生労働省「再生医療等安全性確保法の施行状況について」
(令和元年11月30日現在)

大学発ベンチャー等の集積

関西はライフサイエンス分野において大学発ベンチャー等を多数輩出しています。

医薬品等	アンジェス株式会社（大阪府茨木市）	遺伝子医療のグローバルリーダーを目指すバイオ製薬企業。革新的な医薬品開発のために、国内のみならず海外企業とも積極的に共同開発を展開。	
	KOTAIバイオテクノロジーズ株式会社（大阪府吹田市）	大阪大学免疫学フロンティア研究センターの研究業績を事業化し、免疫細胞受容体の超高速構造モデリングと解析プラットフォームを展開。	
	株式会社バイオパレット（神戸市）	DNAを切らずに置き換える新しいゲノム編集技術を用いて革新的なマイクロバイオーム治療の開発を目指す神戸大学発のスタートアップ。	
医療機器等	株式会社メディカロイド（神戸市）	川崎重工とシスメックスの共同出資による医療用ロボットの開発・製造・販売を行う。国産初の手術支援ロボット「hinotoriサージカルロボットシステム」を発売。	
	株式会社AFIテクノロジー（京都市）	細胞、微生物等の評価・制御・製造に関わるデバイス、装置、試薬等の開発、製造および販売。	
再生医療等	iHeart Japan株式会社（京都市）	京都大学大学院心臓血管外科と連携して、iPS細胞を原料とする再生医療等製品を開発している。	
	株式会社ビジョンケア（神戸市）	眼科領域・再生医療領域・ロービジョンケア領域における研究・開発・コンサルティングを行う。	
	株式会社マイオリッジ（京都市）	独自タンパク質フリー技術に基づくiPS細胞由来心筋細胞を中心とした各種細胞用培地の開発をおこなう京都大学発のスタートアップ。	

関西に進出している外資系企業例（ライフサイエンス分野）

関西に本社をおく、ライフサイエンス分野の外資系企業が活発に活動しています。

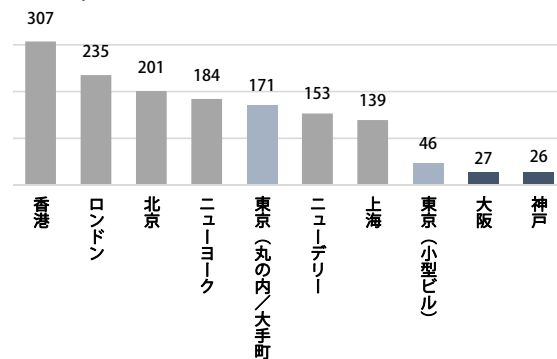
	企業名	親会社国籍	事業概要	関西エリアの拠点場所 (下線は日本拠点本社を置く府県)
	バイエル薬品（株）	ドイツ	医薬品・医療機器の開発・輸入・製造・販売	大阪、滋賀、兵庫
	アストラゼネカ（株）	イギリス	医療用医薬品の開発、製造および販売	大阪、滋賀、京都、兵庫
	日本イーライリリー（株）	アメリカ	医薬品の発明、開発、製造、及び販売	兵庫、京都、大阪
	PRAヘルスサイエンス（株）	アメリカ	医薬品、医療機器、再生医療等製品、ワクチン等にかかる臨床開発、市販後調査、製造販売後調査、臨床研究等の受託事業	大阪

ビジネスがはじめやすい街 関西

廉価なビジネスコスト

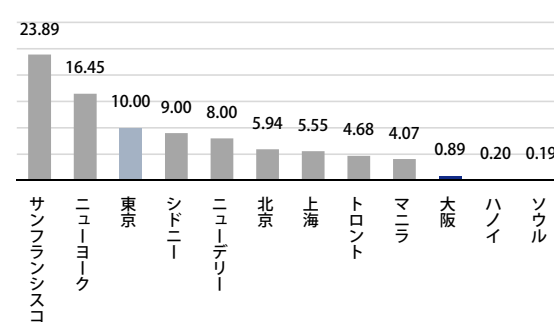
香港や北京よりもオフィス賃料は安く、また、工業団地借料も上海やマニラより安価で、関西は、優れたコスト競争力を有します。

●世界主要都市と日本各都市のオフィス賃料比較
(1sqftあたりの平均年間コスト) 単位：米ドル



出所：JETRO 投資コスト比較 モデルケース (コスト試算ガイド)
(注1) 各都市の地区は次の通り。ニューデリー：コンノートプレイス、上海：浦東、東京：丸の内/大手町、ニューヨーク：ミッドタウン・マンハッタン、ロンドン：ウェスト・エンド、北京：金融街、香港：中環
(注2) 国内各都市はビジネス地区の平均賃料よりジェトロ算出
(資料) CBRE「Global Prime Office Occupancy costs, July 2018」、三幸エステート 2018

●上海やマニラより安い大阪の工業団地借料
(1平方メートルあたりの月額借料) 単位：米ドル



出所：JETRO「投資コスト比較」(2018年7月算出)

外国・外資系企業に特化した自治体の優遇措置等

関西の自治体は企業誘致に積極的であり、特に外国企業・外資系企業に特化した優遇措置を有する自治体も多数存在します。

以下は、外国企業・外資系企業に特化した優遇措置の例。国内企業にも適用される自治体の優遇措置についての詳細、最新情報は、ジェトロ「地域進出支援ナビ」から、各自治体のウェブサイト等でご確認ください。



京都府	外資系企業拠点設立支援助成金	登記費用 (上限額1件15万円) (詳細は京都府 商工労働観光部 経済交流課 (電話番号：075-414-4840) までお問合せください)
大阪府	大阪府企業立地促進補助金 (外資系企業等進出促進補助金)	大阪府内に本社を設置する外資系企業 (外資比率1/3以上) 等に対し、投資額等の一部を補助。 (家屋取得費用の5%、または家屋賃料等の1/3。限度額あり。)
	O-BIC 外資系企業進出支援事業	費用負担 (登記費用上限10万円、在留資格取得費用上限5万円)
兵庫県	法人事業税軽減	法人税軽減 (1/3×5年間)
	オフィス賃料に対する補助	賃料補助 (1/2以内×3年間、1,500円/平方メートル・月、年200万円上限)
	新規正規雇用者に対する補助	新規正規雇用者30万円/人 (一部促進地域は、新規正規雇用者60万円/人、新規非正規雇用者30万円/人) (3億円上限)
	市場調査、法人設立等に対する補助	費用の1/2を補助 (市場調査経費等上限100万円、法人登記経費等上限20万円)
神戸市	外国・外資系企業向けオフィス賃料補助	[兵庫県・神戸市協調] 賃料補助 (1/2以内×3年間、1,500円/㎡・月、年200万円上限)
		[神戸市上乗せ] 賃料補助 (1/4以内×3年間、750円/㎡、年900万円上限)

注：掲載情報は令和2年12月時点調べ

充実したインキュベーション施設・ウェットラボ

駐在員事務所の開設や創業間もない段階を支えるインキュベーション施設が充実しています。また、実用化が期待されるシーズを有している方々の研究開発の促進を支えるウェットラボ施設も多数あります (約50施設)。

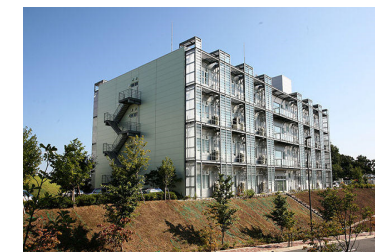
(インキュベーション施設・ウェットラボの詳細は巻末資料に掲載)

●関西にあるウェットラボがある施設の一例



クリエイションコア・京都御車

ライフサイエンス分野のR&Dを目的としたウェットラボを提供。京都府立医科大学や京都大学吉田キャンパスに近接、常駐スタッフによる支援、自治体による賃料補助制度等様々なサポートが受けられます。



彩都バイオインキュベータ、彩都バイオヒルズセンター、彩都バイオイノベーションセンター

大阪北部の茨木市に立地。約70㎡のウェットラボ中心に共同機器室、動物舎 (共同利用) を設置。遺伝子組換え実験、病原体等微生物取扱実験可。地元自治体から賃料および設備費補助有。



神戸医療機器開発センター (MEDDEC)

ウェット使用のラボタイプ25室 (31.5~80.5㎡) とオペ室 (3室)・研修室等により構成。オペ室は、内視鏡セットや透視装置等を設置し、研修室 (42名収容) と音声及び画像を双方向に配信が可能。

コラム 京都御車に入居する外資系企業「CELLINK株式会社」



2016年、世界初のバイオインクを商品化したスウェーデンの外資系企業。再生医療、細胞生物学、創薬、歯学、合成生物学など、あらゆる分野にて応用が期待される3D/バイオプリンティング、イメージング、自動分注技術で、医療の未来を創造するライフサイエンス企業です。

2017年にスウェーデン大使館のサポートシステムから、京都大学「イノベーションハブ京都」(バイオベンチャー企業が入居できるオープンイノベーション施設) の紹介を受け、国内ビジネスフィールドの拡大に向けて、国内拠点を開設。同社のバイオプリンター、バイオインク、分注技術が、京都大学や大阪大学の研究ラボでの利用実績を有しており、同ラボ出身者が技術サポート人材として、CELLINK社に参画するなど、同社の事業展開の加速化に寄与しています。国内での更なる事業拡大にともない、JETROのサポートを得て、独立行政法人中小企業基盤整備機構のクリエイションコア御車に入居し活動を展開しています。

関西イノベーション国際戦略特区

関西イノベーション国際戦略特区 (内閣府)	重点6分野 (医薬品・医療機器・先端医療技術・先制医療・バッテリー・スマートコミュニティ) において新たな事業展開を図ろうとする企業を、国・自治体、経済団体が一丸となってサポート。規制の特例措置に加え、財政・税制・金融上の支援措置を総合的に実施。
(独法) 医薬品医療機器総合機構 関西支部 PMDA WEST	関西イノベーション国際戦略総合特区の要望として設置。日本再興戦略を踏まえた医療関連イノベーション推進に取り組む。

国内外のスタートアップの支援

スタートアップ・エコシステム構築に向けた産官学一体の取組も進展しています。

スタートアップ・エコシステム拠点都市「大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム」

国内4箇所のグローバル拠点都市を内閣府が選定。ヘルスケア、ものづくり、情報通信分野に重点。大阪大学、京都大学、神戸大学を中心に大学・研究機関、企業が連携。「大阪・関西万博」に向け経済界を含め京阪神一体となった支援体制を構築し、スタートアップの新技术・新サービスの機会創出。

経済産業省及びJETROは、海外の有望なスタートアップ企業等とのマッチングを支援しています。

Japan Innovation Bridge 「J-Bridge」

国内外拠点に常駐するコーディネーターが日本企業に対し、海外の有望なスタートアップ企業等を紹介。デジタル、グリーン等重点分野における協業・連携をサポートし、日本のオープンイノベーションを応援。

近年、関西地域には、外資アクセラレータが相次いで進出し、シード、アーリー・ステージからミドル・ステージまで様々なアクセラレーションプログラムを展開しています。

Plug and Play Kyoto

Plug and Play Kyotoでは、京都の強みであるものづくりとライフサイエンスを基軸とした「ハードテック/ヘルスケア」をテーマに、データヘルスや医療へのAI活用、医療機器の分野でのコンソーシアム型アクセラレーションプログラムを展開。



Startupbootcamp Scale Osaka

英国に本部をおくRainmaking group (本部) がプログラムを統括。ミドルステージ以降をターゲットにしており、パートナー企業との実証実験、協業を進め成長を支援。日本の大手企業とのビジネス開発とパイロットプログラムの実行に重点。



500 KOBE ACCELERATOR

アメリカ本国の500Startupsと神戸市がタッグを組み、シード、アーリー・ステージに投資し、起業経験者であるメンターが6週間伴走支援するプログラムとして実施。2020年のテーマは、「COVID-19 Emerging Technology」とし、神戸医療産業都市内企業とも連携。



ビジネスマッチングやピッチイベント等、ビジネスコミュニティ形成や地域情報の発信に向けた取組も盛んに行われています。

HVC KYOTO (Healthcare Venture Conference Kyoto)

ヘルスケア分野のスタートアップ企業のグローバル展開を支援する英語ピッチイベント
(主催：JETRO、京都府、京都市、京都リサーチパーク (株))

国際イノベーション会議「Hack Osaka」

注目度の高い起業家やアクセラレーターが世界各国から集合
(主催：国際イノベーション会議Hack Osaka実行委員会 (大阪市、(公財) 都市活力研究所、JETRO大阪本部))

メドテックグランプリKOBE

医療・医療・健康関係などに関わる次世代技術と情熱をもって世界を変えようとするチームを発掘・育成することを目的とした、ライフサイエンススタートアップ発掘・育成プログラム
(主催：神戸市、(公財) 神戸医療産業都市推進機構、(株) リバネス)

コラム アストラゼネカ「i2.JP」

アストラゼネカ株式会社 (本社:大阪市) は、ヘルスケア分野におけるオープンイノベーション活動を積極推進する新たなイニシアティブ「i2.JP (アイツー・ドット・ジェイピー)」を立ち上げ、参画する企業やアカデミア、政府、団体とのパートナーシップを通じて、患者さんをサポートするソリューションの提供や、医療従事者の抱える課題の解決、新たなヘルスケア技術およびソリューションの育成などを実施することで、次世代ヘルスケアに貢献することを目指しています。

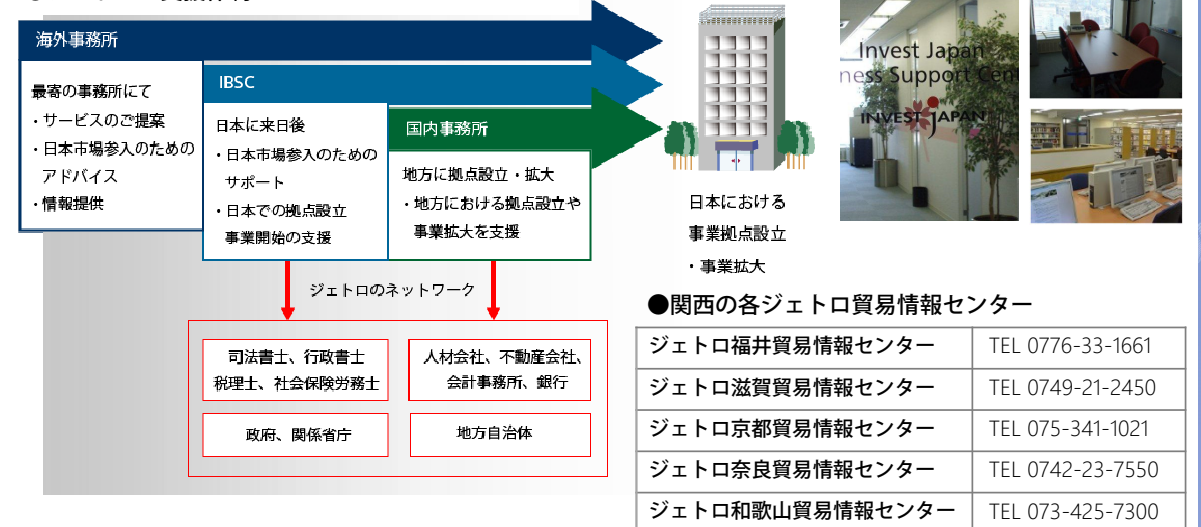
充実した各種サポート体制

日本・関西へのファーストコンタクト窓口

●関西の各JETRO貿易情報センター

 日本貿易振興機構(ジェトロ)	ジェトロは、海外55カ国76事務所のネットワークを通じて発掘した対日投資関心企業の情報を国内事務所が受け継ぎ、地元の投資誘致機関と協働で支援しています。 	
ジェトロ対日投資・ビジネスサポートセンター (IBSC)	全国主要都市6カ所、関西では大阪と神戸にある、ジェトロIBSC (Invest Japan Business Support Center) では、拠点設立からビジネス拡大まで一貫したきめ細やかなサポートを提供し、拠点設立を目指す外国企業・外資系企業のためのテンポラリーオフィスを無料で提供しています。	ジェトロIBSC大阪 TEL 06-4705-8660 
		ジェトロIBSC神戸 TEL 078-252-7505 

●JETROの支援体制



各自治体等による対日投資サポート機関でも、様々なワンストップサポートサービスを提供しています。

京都海外ビジネスセンター (JETRO京都・京都府・京都市・京都商工会議所・(公財)京都産業21・(公財)京都高度技術研究所 (ASTEMI))	海外ビジネスに関するオール京都による公的支援窓口として、府内中小企業の輸出拡大、京都への外国企業立地促進、府内企業と海外企業との共同ビジネス促進等を図るため、海外戦略策定から実行まで、一貫した支援を展開。	TEL 075-366-4364 
 大阪外国企業誘致センター (O-BIC)	大阪府、大阪市、大阪商工会議所が外国企業、外国公館・経済団体などの大阪進出支援のために設置したワンストップ・サービス・センター。4カ国語 (英語、中国語、韓国語、日本語) による大阪の基本情報をはじめ、会社設立や在留資格取得の方法、オフィス・倉庫・工場・住居などの不動産情報、生活に必要な情報 (学校、医療機関など) を提供するほか、外資系企業・外国政府機関を対象としたセミナーも開催し定着支援を行う。	TEL 06-6944-6298 
 ひょうご・神戸投資サポートセンター 市内県内への進出・参画をご検討の企業様を円滑にサポートする	国内外企業の進出のためのワンストップサービス機関として、進出の上で必要となる地域概要、経済状況、産業団地などの情報提供を行うほか、進出時に必要なビジネス・生活面のサポート、許可手続きにおけるアドバイスや各種サポート機関の紹介を実施。	TEL 078-271-8400 

住みやすい街 関西

関西は、多くの芸能・文化発祥の地である歴史や自然豊かな都市からなり、豊かなくらしを提供する環境やサービスも充実しています。大阪市は、「世界で最も住みやすい都市ランキング」世界トップ4に選ばれています。



外国人のための生活支援

外国人の方が安心して過ごせるよう、多言語による在留資格、労働・仕事、医療、福祉、教育など、各自治体での暮らし一般生活支援の相談窓口も充実しています。（詳細は巻末資料に掲載）



（公財）大阪府国際交流財団

多言語（日本語を含む11言語）により生活関連情報を含めた幅広い情報提供や相談に応じています。

子弟の教育機関

国際バカロレアプログラム（IB）認定校を含む外国人子弟の教育機関が京都、大阪、神戸を中心に充実しています。

● 関西の主なインターナショナルスクール

京 都	大 阪	神 戸
京都インターナショナルスクール [保/幼・小・中] (京都市) 同志社国際学院 [小] (木津川市)	大阪YMCAインターナショナルスクール [幼・小] (大阪市) アブロードインターナショナルスクール [幼・小] (大阪市) 関西学院大阪インターナショナルスクール [幼・小・中・高] (箕面市)	カナディアン・アカデミー [保/幼・小・中・高] (神戸市) 関西国際学園 [保/幼・小・中・高] (神戸市) 神戸ドイツ学院ヨーロッパンスクール [保/幼・小] (神戸市) マリスタブラザーズインターナショナルスクール [保/幼・小・中・高] (神戸市)

コラム 外資系企業トップインタビュー「関西の魅力」

関西には製薬会社や薬学部を持つ大学も多く、また企業が集中している東京と比べて人材獲得の競争が激しくなく、人手の確保がしやすいように思います。
また、一極集中により生活費や通勤時間等のコストが高まっている東京と比較すると、それらが安いことも魅力です。
特に新卒の学生においては東京志向が強いですが、関西でも世界を舞台として第一線で仕事ができることを知ってほしいです。

PRAヘルスサイエンス株式会社 代表取締役社長 小川淳氏



2025年 大阪・関西万博に向けて

2025年に日本で開催する「大阪・関西万博」のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。本万博では、新たなアイデアが続々と生み出され、社会実装に向けて試行される「未来社会の実験場」をコンセプトに、Society5.0を鍵として国連が定める「SDGs（持続可能な開発目標）」達成への貢献を目標としており、世界中から大きな期待が寄せられています。
特に、日本は、最も早く超高齢化に突入している国の一つであり、課題先進国として、「いのちを救う」「いのちに力を与える」「いのちをつなぐ」をサブテーマとして開催する「大阪・関西万博」を絶好の機会と捉え、関西でライフサイエンス分野の様々なクラスターが形成されているポテンシャルを活かし、産官学あげて、最先端の社会実験を行うことで、世界が共通で抱える課題の解決策を世界に向けて発信していきます。



大阪・関西万博の
ロゴマーク

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン
"Designing Future Society for Our Lives"

コンセプト

未来社会の実験場
"People's Living Lab"

サブテーマ

- ▶ Saving いのちを救う
- ▶ Empowering Lives いのちに力を与える
- ▶ Connecting Lives いのちをつなぐ

開催の意義

- ・ いのち輝く未来社会へ
- ・ SDGs達成・SDGs+ beyondへの飛躍の機会
- ・ Society5.0実現に向けた実証への機会
- ・ 日本の飛躍の契機に

開催概要

- ・ 開催場所：大阪市夢洲地区
- ・ 会期：2025年4月13日～10月13日
- ・ 来場者数（想定）：約2,820万人
- ・ 会場建設費：約1,850億円以内
- ・ 経済波及効果（試算値）：
 - 建設費関連約0.4兆円
 - 運営費関連約0.5兆円
 - 消費支出関連約1.1兆円



海と空を感じられる会場 鳥瞰図



ウォーターワールドで行う環境演出催事の会場提案図

（公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会HPより）

コラム 未来医療国際拠点の整備



大阪府では、再生医療をベースに、ゲノム医療や人工知能（AI）、IoTの活用等、今後の医療技術の進歩に即応した最先端の「未来医療」の産業化及び国内外の患者への「未来医療」の提供による国際貢献を推進する「未来医療国際拠点」の2024年春オープンに向け取り組んでいます。

※提案時点（2019年1月）のイメージバースであり、今後変更の可能性あります。
※提供：中之島4丁目用地における未来医療国際拠点整備・運営事業開発事業者

(巻末資料) 事業拠点等

駐在員事務所の開設、創業間もない段階でのインキュベーション施設、ウェットラボ施設等、日本国内での事業展開のステージに応じた事業拠点が多数提供されています。

京都	京大桂ベンチャープラザ		クリエイション・コア 京都御車		京都リサーチパーク (KRP) ベンチャーインキュベーション オフィス (VIO)	
	京都産業科学技術総合イノベーションセンター (KISTIC)		京都高度技術研究所 (ASTEM) イノベーション 創出コミュニティ (STC ³)		ベンチャーインキュベーション センター (KUVic)	
	イノベーションハブ京都		宇治ベンチャー企業育成工場 (宇治VIF)		同志社大学連携型起業家育成 施設 (D-egg)	
	けいはんなプラザ オフィス・ラボスペース		けいはんなオープンイノベ ーションセンター (KICK)		京都市成長産業創造センター (ACT Kyoto) らくなん進都 ・高機能性化学研究開発拠点	
大阪	公立大学法人大阪市立大学 インキュベータ		大阪市泉尾賃貸工場 テクノシーズ泉尾		LINK-J ライフサイエンスハ ブウエスト	
	さかい新事業創造センター (S-Cube)		クリエイション・コア 東大阪		とよなか起業・チャレンジ センター	
	産業技術総合研究所 関西産学官連携研究棟 (かんさいOSL)		彩都バイオインキュベータ、彩都 バイオイノベーションセンター、 彩都バイオヒルズセンター		大阪大学産業科学研究所 企業リサーチパーク	
	枚方市立地域活性化支援 センター		八尾インキュベートルーム (八尾市立中小企業サポート センター内)		大阪産業技術研究所 和泉センター 開放研究室 (インキュベータ)	
兵庫	神戸医療機器開発センター (MEDDEC)		神戸健康産業開発センター (HI-DEC)		神戸インキュベーションオ フィス (KIO)	
	神戸バイオメディカル創造 センター (BMA)		神戸キメックセンタービル (KIMEC)		神戸国際ビジネスセンター (KIBC)	
	神戸ハイブリッドビジネス センター (KHBC)		UNOPS Global Innovation Center JAPAN (GIC JAPAN)		先端医療研究センター (病 院・研究所) (IBRI)	
	神戸臨床研究情報センター (TRI)		国際医療開発センター (IMDA)		計算科学振興財団 (FOCUS) 高度計算科学研究支援セン ター	
	神戸医療イノベーションセン ター (KCMI)		クリエイティブラボ神戸 (CLIK)		尼崎リサーチ・インキュベ ーションセンター (ARIC)	
	福井県産業情報センター インキュベートルーム (創業 者支援オフィス)					
滋賀	龍谷大学 REC レンタルラボ		滋賀県立テクノファクトリー		立命館大学BKCインキュベ ータ	
	滋賀県工業技術総合センター 技術開発室 レンタルラボ		滋賀県立大学産学連携セン ター		長浜バイオインキュベショ ンセンター (NBIC)	
奈良	やまと創業インキュベータ 大和高田 (奈良県産業会館 創業支援室)					
和歌山	わかやまビジネススクエア		和歌山県立情報交流センター Big・U SOHO プース			

(巻末資料) ライフサイエンス系のベンチャー企業

医薬品等	株式会社オステオファーマ (大阪市)	骨形成因子 B M P を用いた骨形成医薬品の開発を行う。	
	カルナバイオサイエンス株式会社 (神戸市)	独自のキナーゼ阻害薬を創製するための研究開発を行う創業事業と創 業支援を同時に手掛ける創業系バイオベンチャー。	
	味の素バイオファーマサービス・ 株式会社ジーンデザイン (大阪府茨木市)	核酸医薬開発にかかわる CRO、CMO として活動領域を広げながら、新 規製法開発にも積極的に取り組む。	
	株式会社シンプロジェン (神戸市)	DNA 合成サービス、DNA ライブラリーの開発・合成サービス、及び遺伝 子治療に用いられる治療用ベクターの開発サービス等を展開。	
	バイオアカデミア株式会社 (大阪府吹田市)	アカデミアの知財を活用して、医学・生物学研究用のタンパク質・抗体 等の試薬の製造・販売。感染症関連の診断薬、ヒト型抗体による抗体医 薬の開発・受託。	
医療機器等	株式会社 Integral Geometry Science (神戸市)	世界最先端の計測分析機器メーカー。電子部品、電子機器の信頼性向 上、社会インフラの予防保全、未来医療のために事業を展開。	
再生医療等	株式会社 Ig-M (神戸市)	倦怠感、胃もたれ、肌のハリなど官能的症状と生化学的データ検証をつな ぐ。再生医療製品開発で培われた基礎生態学の応用である。臨床感覚を数 字データで解析。	
	株式会社 iPS ポータル (京都市)	iPS 細胞をはじめ、Cell-Technology を根幹とした研究や事業の支援 サービスを実施。製薬企業をはじめとした細胞に係る事業の推進を、 テクノロジーとビジネスの両軸でサポート。	
	株式会社 aceRNA Technologies (京都市)	マイクロRNA の細胞内活性を可視化する「RNA スイッチ」技術を利用 し、マイクロRNA の新規機能の探索研究と、その機能を基にした核酸 医薬の開発を展開。	
	株式会社 幹細胞 & デバイス研究所 (京都市)	iPS 細胞由来の神経細胞や骨格筋細胞などをもとに、創業研究向けの 細胞デバイスと、これを活用した薬効薬理評価系を開発している京都 大学発ベンチャー。	
	株式会社 PHG (神戸市)	奈良先端科学技術大学院大学 谷原教授の研究成果を活かし、研究用 試薬の製造販売、新規材料の研究開発、新規材料の事業化を行う。	
ヘルスケア 他	マイクロバイオファクトリー株式会社 (大阪市)	再生可能な植物バイオマス資源を原料に利用して微生物発酵で有用な バイオ化学品を生産。	

(注) 近畿経済産業局が実施した「関西のライフサイエンス産業対日投資に関するアンケート調査」(令和2年11月) から抽出した例。

(巻末資料) 外国人のための相談窓口

(公財) 京都市国際交流協会		(公財) 京都府国際センター	
(公財) 大阪国際交流センター		(公財) 大阪府国際交流財団 (OFIX)	
(公財) 神戸国際協力交流センター		(公財) 兵庫県国際交流協会	
(公財) 福井県国際交流協会		(公財) 滋賀県国際協会	
奈良県外国人支援センター		(公財) 和歌山県国際交流協会	